

—Machidukuri Round Table—



令和元年度8月30日@市民学習センター

まちづくりラウンドテーブル

ワークショップ詳細

参加者：東部（吉田・安田・鎌手・種・北仙道）

36名

平成28年度より開始された市民と行政の“対話の場”、“学びの場”である「まちづくりラウンドテーブル」（通称[MRT]）。今年度第1回目は「協働のまちづくりについて考えよう」を実施し、地域自治組織、NPO法人からも出席いただき、協働について議論しました。

令和元年10月 益田市協働推進ネットワーク庁内会議

1. 挨拶

2. 協働を考えるために

ワークショップの前に市人口拡大課より、協働について説明いたしました。

3. 自己紹介

4. ワーク①：安心して暮らすために必要なアクションを共有しよう

安心して暮らすために必要なことで、どんなことを取り組んでいるかなど付箋に書き出し共有しました。

5. ワーク②：活動していること、これからできそうなことを考えよう！

6. ワーク③地域で誰と誰が協働したらよいかを考えよう！

7. 情報共有

「私たちだったらこうするプラン」を作成し、全体に共有しました。

8. 閉会



Aグループ：

ワーク①：安心して暮らすために必要なことを考えよう

鳥獣対策	会話	草刈り	保全整備
子どもの見守り	避難所の地図を配置	地域住民の把握	ルールを守る
近くにお店がほしい	同世代のつながりをつくるイベント	細かな情報ネットワーク	
車以外の代替交通手段の確保	顔と名前が分かる声かけ	市民の要望に応じて欲しい	

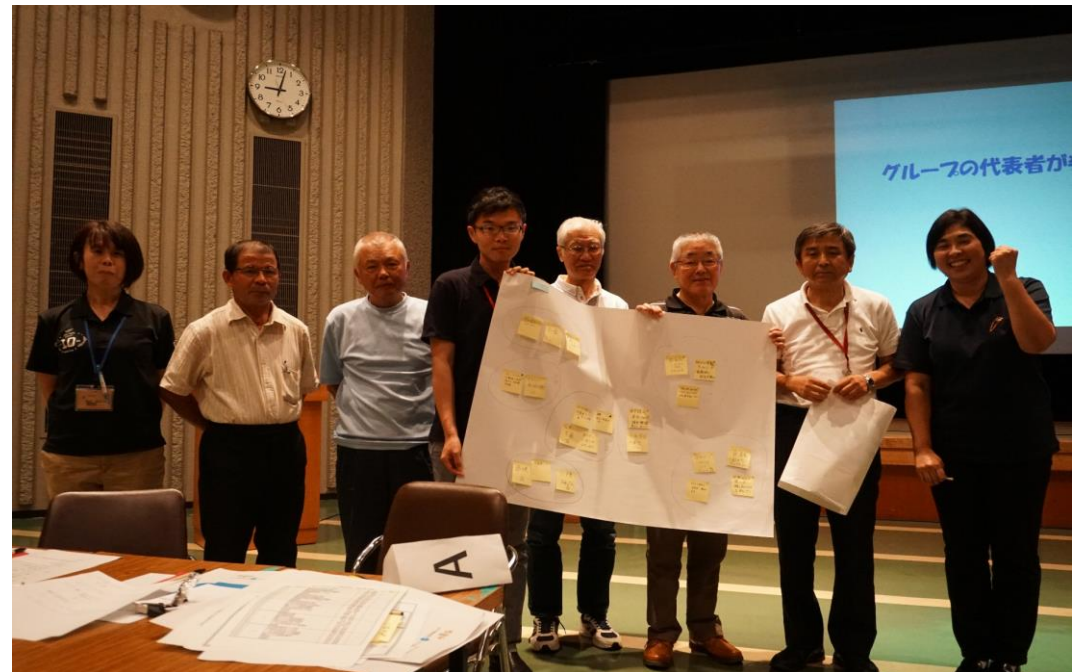
ワーク②：アクションに関連する団体を考えよう

テーマ	つながりづくり
関連団体	警察 民生委員 ソーシャルワーカー 不動産会社 学校、PTA 公民館、行政 自治会、町内会

ワーク③：私たちだったらこうするプラン

アクション：外に出て来ない人とコミュニケーションをとろう！

誰が（誰と誰が）	何をするか？・仕組み・対策案
<p>民生委員 ソーシャルワーカー 行政 自治会、町内会</p>	<p>声をかけ続ける 信頼できる存在であることを示す 貸借住宅に居住する人の情報開示をする</p>



Bグループ：

ワーク①：安心して暮らすために必要なことを考えよう

福祉の充実	健康寿命を延ばす	体力づくり	身体を動かす
子どもの下校時の見守り	草刈り活動	運転続行	避難経路の確認
ひとり暮らしの高齢者への声かけ	挨拶をする	農業の担い手	
近所の付き合いが必要	災害から身を守る	道路にはみ出した草木の処理	

ワーク②：アクションに関連する団体を考えよう

テーマ	向こう3件両隣を取り戻そう
関連団体	老人クラブ、老人会、サロン（老人） 自治会、組、隣保 住宅会社、アパートの大家、管理会社 青少協、民児協

ワーク③：私たちだったらこうするプラン

アクション：顔見知りになる

誰が（誰と誰が）

何をするか？・・仕組み・対策案

自治会、町内会
地域住民

回覧板を手渡しで渡すことで安否確認につながる



Cグループ:

ワーク①：安心して暮らすために必要なことを考えよう

高齢者を守る	買い物支援	洪水対策	避難場所の確認
医療の充実	鳥獣対策	夜間の安全対策	災害時の弱者対策
交差点に安全柵を設置		液状化マップの作成	地域の活性化
学校と公民館の行事の連携	地域コミュニティの結成	地域住民の交代での登下校の見守り	近所の人との交流

ワーク②：アクションに関連する団体を考えよう

テーマ	地域の方との交流
関連団体	社会福祉協議会 学校、公民館、自治会、子ども会 猟友会、婦人会、J A、食会 Mランド、コンビニ

ワーク③：私たちだったらこうするプラン

アクション	食を通して子どもとお年寄りのつながりを深める
誰が（誰と誰が）	何をするか？・・仕組み・対策案
婦人会、J A、食改、市役所 所 猟友会、高齢者、地元企業 学校、公民館	婦人会、J A、市役所：食育についてのメニュー作り 猟友会、高齢者、地元企業：食材の提供 学校、公民館：場所の提供



Dグループ：

ワーク①：安心して暮らすために必要なことを考えよう

近所づきあい	地域の世話役	子どもの見守り	避難訓練
地域交流	高齢者向けの安全教室	買い物支援 交通確保	鳥獣対策で被害を減らす
溝にふたをする	川刈り、草刈りの担い手確保	空き家の管理 安全確保の面があ	住まいの管理
橋の欄干を高くする		高齢者の免許更新を頻繁に行う	

ワーク②：アクションに関連する団体を考えよう

テーマ	地域での助け合い
関連団体	地域自治組織、自治会、行政 学校、PTA シルバー人材センター

ワーク③：私たちだったらこうするプラン

アクション	助け合いグループの立上げ
誰が（誰と誰が）	何をするか？・・仕組み・対策案
行政 自治会 学校、PTA	行政：補助金や情報提供と周知 自治会：地域内の周知と協力者の募集 学校とPTA：未来の担い手として世代をつなぐ



Eグループ:

ワーク①：安心して暮らすために必要なことを考えよう

地域同士の交流	安心安全な食生活	独居高齢者の見守り、つながりづく	住むための安全性の確保
地域内の交通、移動手段の確保	道路の街灯を増やす	治安の維持	危険の共有知識の伝達
互いにフランクに話ができる安心感		子ども議会	安定した収入がある
子どもの登下校の見守り	話し相手の存在	飛び出している草木の伐採	地域行事への参加

ワーク②：アクションに関連する団体を考えよう

テーマ	きずなづくり
関連団体	公民館、行政、学校 地域自治組織 社会福祉法人、民生委員、つろうて子育て協議会

ワーク③：私たちだったらこうするプラン

アクション	小・中学生が独居高齢者宅を訪問
誰が（誰と誰が）	何をするか？・仕組み・対策案
行政、公民館 地域自治組織 地域団体 学校	月に1～2回小・中学生が独居高齢者宅を訪問する ・困ったことのお助け ・宅配 ・掃除 など

